

大会名 Competition	第23回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-107	Year Month Day Time 2010 年 5 月 4 日 9 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B										
市立船橋	<table border="1"> <tr><td>11 1st</td><td>7</td></tr> <tr><td>20 2nd</td><td>10</td></tr> <tr><td>24 3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>18 4th</td><td>14</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	11 1st	7	20 2nd	10	24 3rd	16	18 4th	14	OT		明成高校
11 1st	7											
20 2nd	10											
24 3rd	16											
18 4th	14											
OT												
73 ○		47 ●										

主審:Referee 渡邊 亮 福島県
副審:Umpire 水木 順仁 秋田県
テーブルオフィシャル:Table officials 能代工業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	平 良 彰 大	CAP	10	0	4	2	2	4		須 川 陽 介	CAP	-	-	-	-	0
5	×	山 田 侑 樹		21	0	10	1	2	5		市 原 大 臣		-	-	-	-	0
6	×	出 羽 峻 一		15	0	7	1	2	6	×	杉 本 健 将		0	0	0	0	2
7	/	濱 田 拓 也		6	0	2	2	2	7	/	蔦 木 大 智		2	0	1	0	1
8	×	貝 沼 雄 介		4	0	2	0	1	8	/	門 田 瑠 唯		0	0	0	0	0
9	/	中 島 卓 也		2	0	1	0	1	9	/	岩 田 裕 介		8	0	4	0	3
10	/	根 本 奨		2	0	0	2	0	10	×	安 藤 誓 哉		9	1	2	2	2
11	/	小 川 真 司		2	0	1	0	0	11	/	中 村 優 斗		0	0	0	0	1
12	/	佐 藤 豪		0	0	0	0	0	12	/	森 知 史		2	0	1	0	0
13	/	佐久間 大翔		2	0	1	0	0	13		伊 藤 尚 人		-	-	-	-	0
14	/	清 水 礼		0	0	0	0	0	14	×	木 村 聡		15	0	7	1	0
15	/	品 川 剛		0	0	0	0	0	15	×	松 澤 大 晃		9	0	3	3	5
16	/	西 鶴 大 輔		0	0	0	0	1	16	×	藤 井 祐 希		2	0	1	0	1
17	×	古 牧 昌 也		8	0	4	0	1	17		和 田 一 斗		-	-	-	-	0
18	/	石 井 竜 也		1	0	0	1	2	18		川 東 聖 司		-	-	-	-	0
コチ		近 藤 義 行							コチ		佐 藤 久 夫						
Aコチ		井 上 知 徳							Aコチ		藤 岡 祐 汰						
		合 計		73	0	32	9	14			合 計		47	1	19	6	15

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。

第1Q、明成#15松澤がゴール下からのシュートを決めて先制する。船橋は#5山田がフリースローで得点し、さらに#17小牧がゴール下やミドルシュートを決めるなど、すぐに逆点し、5-2とリードする。その後、両チームともシュートが決まらず、攻めあぐむ。11-7と船橋4点リードで第1Q終了。

第2Q、船橋は#5山田、#6出羽らがインサイドから加点し、徐々に点差を広げる。一方、明成はシュートが決まらず、リバウンドも支配され、苦しい展開となる。残り4分すぎには、船橋#5山田、#7濱田らが連続得点し、27-15となったところで明成がタイムアウト。その後も船橋が加点し、31-17と船橋14点リードで第2Q終了。

第3Q、出だしから船橋#4平良、#7濱田らが内外とバランスよく加点し、37-17となり、明成がたまたまタイムアウト。明成は#14木村、#15松澤がインサイドから攻め、ゴール下やフリースローなどで得点するが、点差は縮まらない。船橋は終了間際にも、連続得点し、55-33と船橋が22点差をつけて終了。

第4Q、船橋は明成のディフェンスが甘くなったところを攻め続け、ドライブからゴール下や外角へボールを回し、確実にシュートを決める。第4Qになっても船橋の優位は変わらず、73-47で船橋が勝利した。

試合を通して、リバウンドを支配しながらゲームをコントロールした船橋が安定した試合運びを見せて、2勝目をあげた。